

2017年3月3日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社

東急不動産株式会社

アール・アイ・シー・マネジメント株式会社

三重県桑名市にて物流施設開発用地を取得

～名古屋都心部・名古屋港へ近接する好立地～

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：大野直竹、以下、大和ハウス工業）と東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：植村仁、以下、東急不動産）、アール・アイ・シー・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、社長：片地格人、以下、RICM）の3社は、三重県桑名市にて物流施設開発用地を取得し、「(仮称) 桑名プロジェクト」として共同開発に着手することをお知らせします。

本プロジェクトは、3社の共同出資による特定目的会社が建築主となり、RICMがアセットマネジメント業務を受託し、約70,000㎡の敷地に、2019年春竣工予定で大型マルチテナント型物流施設の建設を計画しています。



「(仮称) 桑名プロジェクト」イメージ

計画地は、東名阪自動車道「桑名インターチェンジ」「桑名東インターチェンジ」から車で約10分の場所に位置し、名古屋市内および名古屋港への交通利便性に優れた立地です。また、現在整備中の東海環状自動車道や新名神高速道路の開通により、この交通利便性がさらに高まり、東日本と西日本の新たな結節点となることが期待されます。

3社は、大和ハウス工業の物流施設開発における建設・運営実績、東急不動産の街づくり・不動産開発の実績、RICMの物流不動産マネジメントやリーシングネットワークを活かし、新たな物流拠点開発に取り組めます。

●計画地概要

所在地	桑名市多度町力尾（工業団地「テックベース桑名」内）
敷地面積	70,253.35 m ²
取得年月日	2017年2月7日

【物件位置図】

